

# 英語語法文法学会第18回大会プログラム

(年会費 4,000 円 大会参加費：学会会員 500 円 (予稿集代) / 当日会員 2,000 円 (予稿集代を含む))

日時：2010年10月16日(土) <昼食は、学内食堂も営業していますが、駅周辺での購入をお勧めします。>

開催地：日本大学(文理学部キャンパス)

住所：〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 (Tel. 03-5317-9709)

<http://www.chs.nihon-u.ac.jp>

(京王線「新宿」駅から「下高井戸」駅、あるいは「桜上水」駅下車、徒歩8分)

開催校委員：吉良文孝・一條祐哉

ワークショップ(3号館 3508 講義室) ● 研究発表(3号館 3505・3507 講義室) ● 総会(3号館 3507 講義室)  
シンポジウム(3号館 3507 講義室) ● 会員休憩室(3号館 3506 講義室) ● 司会者控え室(3号館 3510 講義室)  
関係者(ワークショップ・研究発表・シンポジウム発表者)控え室(3号館 3509 講義室) ● 書籍展示(3号館 5階ホール)  
運営委員会室・大会本部(3号館 3501 講義室)

受付：10時30分より 3号館5階ホール

ワークショップ(3号館5階 3508 講義室) 10.45 - 11.40

1. 「具体的金額を表す名詞の副詞的性質について」
2. 「補文を取る I don't think 型の2つの用法について」
3. 「両面性表現」

司会 中澤和夫(青山学院大学)  
年岡智見(日本学術振興会特別研究員)  
明日誠一(青山学院大学非常勤)  
金子輝美(愛知淑徳大学非常勤)

受付：12時30分より 3号館5階ホール

研究発表 13.00 - 14.45

第1室(3号館5階 3505 講義室)

1. 「To と for の指向性—to NP、for NP と事態実現の観点から」
2. 「受動態をとるイディオムに見られる前置詞の特質について」
3. 「二重目的語構文と動詞 pour の親和性をめぐって」

司会 吉田幸治(近畿大学)

岩田真紀(京都大学大学院)  
渡邊文文(青山学院大学大学院)  
宮下垂矢子(京都精華大学)

第2室(3号館5階 3505 講義室)

1. 「被動作主項を顕現させない動詞に関する考察—レシピの英語を題材に」
2. 「英語の名詞における文脈依存の非状態の意味」
3. 「属格代名詞を含む have 構文について」

司会 田中一彦(大阪市立大学)

新池邦子(京都府立大学大学院)  
清水康樹(東北大学大学院)  
武内梓朗(筑波大学大学院)

総会(3号館5階 3505 講義室) 15.00 - 15.20

|             |      |      |             |
|-------------|------|------|-------------|
| 開会の辞        | 会長   | 安井 泉 | (筑波大学)      |
| 開催校代表挨拶     |      | 加藤直人 | (日本大学文理学部長) |
| 学会賞・奨励賞選考報告 | 会長   | 安井 泉 | (筑波大学)      |
| 事務局報告       | 事務局長 | 吉良文孝 | (日本大学)      |

シンポジウム(3号館5階 3505 講義室) 15.35 - 17.45

テーマ 「英語の冠詞、限定詞をめぐって—言語事実を如何に説明するか？  
語法文法研究、言語事実、文法理論、英語教育の interface」

司会 菅山謙正(京都府立大学)

1. 「英語の冠詞・限定詞：序論」
2. 「英語教育の中の冠詞」
3. 「認知文法における「冠詞」と kind of NI に出現する不定冠詞」
4. 「HPSG から見た限定詞」

菅山謙正(京都府立大学)  
石田秀雄(京都女子大学短期大学部)  
高木宏幸(近畿大学)  
前川貴史(北星学園大学短期大学部)  
田村幸誠(滋賀大学)  
五十嵐海理(龍谷大学)

ディスカッサント

閉会の辞 吉良文孝(日本大学)

懇親会 18.00 - 19.30 カフェテリア「秋桜(コスモス)」(3号館1階) (懇親会費：一般 4,000 円 学生 2,000 円)

連絡先：英語語法文法学会

(〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 日本大学文理学部英文学科 吉良文孝研究室内)

Tel. 03-5317-9709 Fax 03-5317-9336 email: kira@chs.nihon-u.ac.jp

